

学校教育推進室だより

東大阪市教育委員会 学校教育推進室 令和4年3月22日

〒577-8521 東大阪市荒本北一丁目 | 番 | 号 TEL06-4309-3268

- 東大阪市学校教育基本目標
すべての子どもに生きる喜びとあすをつくる力を
- 東大阪市学校教育重点目標
 - 総合的視点に立つ教育の推進
 - 人間尊重に徹した人権教育の実践
 - 信頼に応える学校園経営
 - 学校園・家庭・地域の協働

東大阪市教育フォーラムオンデマンド開催

～ 意識が変わる 授業が変わる 子どもが変わる ～

本来であれば1月29日(土)に文化創造館で集合開催する予定でしたが、今般の新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から開催方法を変更し、初めてオンデマンドで開催しました。

OECD など世界から見た日本の状況や本市のこれからの教育の方向性やイメージをもてる有意義な内容です。

また、市長・議長の挨拶や奈良教育大学 教職大学院の小崎誠二准教授からの講演を動画にしてオンデマンド配信することで高速大容量の通信ネットワークやクラウド活用の良い面(多様で大量の情報の取扱い・時間的制約を超える・空間的制約を超える)を感じることができた教育フォーラムになりました。

教育フォーラム講演 小崎 誠二 准教授



講演 小崎 誠二 准教授

テーマ:「1人1台端末がある環境が整った今、
これからの学校教育で大切なこと」

小崎先生からは保護者の「何をさせたいの?」の不安の声に分かりやすくこたえていたり、教育の移り変わりを例を挙げて説明していたり、GIGA スクール構想のコンセプトなど大きな視点でのお話もあり、どこの場面を切り取っても参考になる講演です。詳細は下記から視聴!! ↓

パネルディスカッション

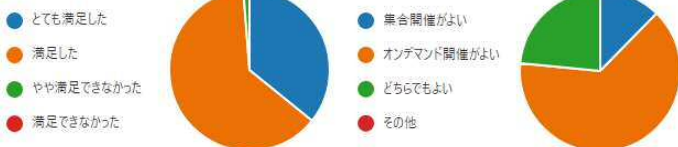
「授業改善に向けた新しい学びのイメージ」

東大阪市の学校がどのように ICT を活用して授業を変えようとしているのか、子どもがどう変わるのかについて、くすは縄手南校の取組みを紹介しています。義務教育学校ということもあり前期課程(小学校)、後期課程(中学校)の発達段階に応じた活用事例からの成果や課題を示してくれています。保護者にとっては授業がイメージしやすく、教職員にとっては授業改善の参考となる動画です。



アンケートより (3月16日現在)

本日のフォーラムはいかがでしたか? 開催方法について



※集計途中のため数値は公表していません。

<<フォーラム視聴方法>>

<https://www.city.higashiosaka.lg.jp/kosodate/0000026267.html>

市民の方向けには東大阪市のウェブサイトでも東大阪市教育フォーラムが視聴できるようになっております。期間限定の配信(～3/31 予定)となりますのでお見逃ししないようお願いいたします。動画を視聴後はアンケートの回答にご協力をお願いします。



モノづくり体験教室の実施

モノづくり体験教室は、平成15年度より、東大阪市立の小学校の子どもたちを対象に、地元企業で組織されているNPO法人地域活性化支援機構とモノづくり支援室と教育委員会が連携して実施しています。子どもたちにとっては、地元企業の活動を知り、様々な道具を使ってモノづくりの楽しさを実体験するなど、「モノづくりのまち 東大阪」にふれる貴重な機会となっています。また、こういった機会を通して、子どもたちが将来の夢や目標を持ったり、自分の将来の展望を見据えることへの一助となることを願っています。

今年度の実施講座（全16講座）

○ワイヤーアート ○紙袋製作 ○磁石 ○グッズ工作 ○ダンボール貯金箱 ○紙は三刀流！
○プログラミング入門 ○アートネジ ○作図・サイコロを作ろう！ ○ミノルキューブ ○ねじの仕組み
○ロケットを創ろう ○工具 ○めっき・ダーツ ○ひな工作 ○パネのおもちゃ



作図・サイコロを作ろう！



プログラミング入門



ワイヤーアート

例年は、地元企業の方が学校に行き、体験講座を開く形で実施していましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、①講師が学校に訪問、②オンラインで学校と講師をつなぐ、③DVDでの動画配信、の3パターンのいずれかで実施しました。今年度もたくさんの応募があり、29校約4100名が様々な体験に参加しています。

子どもたちの感想

- ・「作品を作成するのは難しかったけど、完成した時はうれしかったです。」
- ・「モノづくりで働く人の大変さがわかりました。」
- ・「講師の先生の説明がとても分かりやすく、また仕事に対する熱意が伝わりました。」

発達障害にかかる

巡回指導事業を行っています

東大阪市立障害児者支援センター『レピラ』に協力いただいて巡回指導事業を行っています。
○巡回指導とは？

東大阪市立障害児者支援センター（レピラ）の理学療法士（PT）、作業療法士（OT）、言語聴覚士（ST）が肢体不自由や言語面に課題のある園児・児童・生徒が学校園生活を円滑に過ごせるよう、生活介助や機能訓練面における支援方法について学校園に指導助言を行います。

この巡回指導は、就学前及び就学後の一貫した指導を行うため、定期的・継続的な制度としてスタートしました。

対象・・・肢体不自由学級・病弱学級等に在籍している園児・児童・生徒

回数・・・年間1～2回

内容・・・PT,OT,STが教職員、保護者などからの相談を受け、訓練方法等について指導助言を行う。

【指導例】

- ・姿勢保持のための体幹トレーニング方法
- ・箸をもてるように手の機能訓練方法
- ・絵カードを使用した言語訓練方法

○学校園からの声

- ・姿勢の保持のための体幹トレーニングを教えてもらったことで、少しずつであるが、子どもの筋力が向上してきた。
- ・指の力をつけるための機能訓練を教えてもらったことで、子ども自身の力が徐々につきはじめ、給食当番のかごを持ったり運んだりできるようになった。
- ・階段の降り方について助言してもらったことで、これまで困難だった昇り降りが手すりや支援者の手を持ちながらできるようになった。

